

2013年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	電気通信工学科							
科目名	基礎数学							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次前期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)							
担当者	喜屋武 毅							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な角での三角関数の値がわかる。(A1)</li> <li>・単振動の物理量(振幅、周期、周波数、位相)がわかる。(A1)</li> <li>・複素数をいろいろな表示に変換できる。複素平面上での扱い方に慣れる。(A1)</li> <li>・行列の和、差、積の演算ができる。2次、3次の行列式を計算することができる。(A1)</li> <li>・行列と行列式を使って連立1次方程式を解くことができる。(A1)</li> </ul>							
日程と内容	04/09 導入講義 04/16 三角関数間の関係 04/23 弧度法 04/30 加法定理・逆三角関数 05/07 三角形と三角関数 05/14 単振動とその応用 05/21 複素平面・複素数の性質 05/28 ド・モアブルの定理 06/04 複素数の乗根(臨時試験) 06/11 マクローリン展開・オイラーの公式 06/18 ベクトルの和・差 06/25 ベクトルのスカラー積 07/02 ベクトルのベクトル積 07/09 行列・行列式の定理 07/16 余因子・行列式の展開と固有値ベクトル 07/23 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	30%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	講義内容については、達成目標のいずれの項目も概ね達成している。							
反省点	学力格差から一部の学生には、授業内容が平易になりがちで、授業内容に興味を引き出せていない状況があったかも知れない。学生の興味を引き出せるような講義になるように改善に努める。							
来年度の計画	授業内容に関しては現状の削減予定はないが、講義内容を精査して興味や理解度が深まるようにする。							
授業評価アンケートに対するコメント	アンケートの結果から授業の理解度を図る項目において、結果が芳しくなかった。学生の学力格差が大きく、授業進行に満足していない学生も見られたようである。学生の積極性や理解度の度合いによって、演習問題を課すなどしてできる学生の満足度を高めるように工夫が必要である							
履修登録者数	67名	定期試験受験者数	65名	合格者数	61名	合格率	94%	